

美和中学校

(高部454 ☎58-2549 生徒数111人)



○美和中はこんなところ

本校は、市の北部に位置し、校歌に歌われている「御領平」と呼ばれている高台に建っています。

周囲を八溝山系の山々に囲まれ、学校の近くを緒川が流れ、静かで自然環境の豊かな所です。

昭和44年に開校し、今年で創立38年目を迎えました。年々生徒数は減少していますが、小規模校の良さを生かし、個に応じた指導に努め、学習に部活動に日々目標を持って努力しています。

めざす生徒像

明るい生徒
(あいさつ・おもいやり)
正しい生徒
(自律・実践力)
力ある生徒
(創造・精神力)

○知・徳・体の調和と 統一のとれた教育活動の推進

本校では、県立小瀬高等学校と連携し「中高一貫教育」を推進しています。これは、高校と中学校が教育課程の編成や教員の交流による授業、生徒間の交流を深め、生徒の能力や可能性を伸ばし、郷土を愛する心や生きる力を培うことをねらいとしています。

○教員交流による授業

小瀬高等学校と本校教員が交流し、T・T授業や少人数指導を行っています。数学科では本校教員2人と高校教員の3人で授業を行い、個に応じた指導や課題別学習など生徒の能力や意欲を伸ばす多様な学習活動が展開されています。

また、本校の教員が高校の授業に係わることで卒業後も継続して学習を支援しています。



また、その他の教科でも教員の交流により効果的な授業を展開しています。今年度は理科と家庭科で、高校の教員による指導(スポット的授業)を行っています。より専門的な指導で生徒は興味・関心をもって、学習意欲を高めています。

○部活動交流

バレー部などで、中学校と高校とで合同練習会を行い、技術の習得とともに運動を通しての異年齢集団の交流を活性化し、豊かな感性を培い、たくましい生徒の育成を図っています。

○郷土学習

総合的な学習の時間に、中高を通しての共通のテーマとして地域学習を取り入れています。本校では地域の産業として、しいたけ栽培を行っています。地域の方を講師に招き、駒打ちから指導していただいています。また、昔から伝わる郷土料理を学んだり、地域の方とのふれあいを通じて郷土の食文化や特産物を知り郷土の良さを学んでいます。



○食育の充実

今年、食育推進基本計画が示され、食生活の大切さが叫ばれています。そこで、本校では毎月19日を食育の日にし、生徒と職員での会食「交流給食」を行っています。檜の香漂う「木の研修室」で、給食主任と学校栄養職員の食に関する指導のもとに、自校のできたての給食で会食を行っています。望ましい食習慣の形成と食を通しての人間関係づくりを推進しています。

○ボランティア活動

地域の方々とともに、緒川や道路の清掃活動を行っています。

また、地区の高齢者クラブの方々と一緒に道路脇の花壇



「フラワーロード」の清掃も行っています。校外生徒会が主体となつての本校伝統の活動です。

その他、地域の福祉施設訪問も行っています。ふれあいとともに奉仕することややさしい生徒に育ってほしいと願っています。